

科目名	心理学		
教員名	永井 明子		
授業種別	週間授業	授業形態	講義
開講間隔	週 1 回	単位数	2
履修年次	1	学期	2020 年度 前期
到達目標	<p>「出会い」と「かかわり」を通して、「これから」の大学生活や社会生活を有意義に生きるために必要な心構えや心理学の知識を身につけることで、</p> <p>①自分を振り返ることができるようになる。</p> <p>②学んだ知識や心構えを他者とのコミュニケーションに活用することができるようになる。</p>		
授業概要	<p>目に見えない「心」の仕組みを解き明かそうと、心理学という学問ではこれまでに様々な研究が行われてきた。この講義ではそのような研究を参考にして、自分自身の見えない「心」を見つめてみる。自己と向き合い、人とかかわり、社会との出会いを考えることで自分を再発見し、自分の未来を自分の力で切り開いていく。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーションとグループ作り 2. パーソナリティをみる 3. 心のなりたち 4. 無意識のはたらき 5. 自己をみつめる 6. 自己をつかむ 7. 私の子ども時代 8. 対人関係をふりかえる 9. 対人態度を知る 10. 人とのかかわり方 11. 私の友人関係 12. 社会とのかかわりと帰属意識 13. 想像力と創造力 14. 職業選択 15. 自分の将来イメージ 		
授業方法	<p>演習形式で行い、毎回の授業内容についてグループ・ディスカッションやふり返しを行う。</p> <p>第1回目の授業で、活動グループを作り、そのグループで15回の授業を受講していくので、必ず第1回目の授業に出席すること。</p>		
アクティブ ラーニング の視点	<p>対話を通して自分を知ることが授業の大きな目的になるため、事前に、教科書記載の心理テストを実施することが必須である。また授業中には自分の結果を振り返るだけでなく、この授業の為に編成された固定グループのメンバーとその振り返りをシェアすることになる。さらには自分と他のメンバーを比べる中で見えてきたものをミニツッパーパーとして表出することも求められる。</p>		
授業外学習	<p>毎回、課題の内容を指示する。課題ができていない場合は授業に参加できない。</p>		
教科書	<p>川瀬正裕・松本真理子・丹治光浩著『これからを生きる心理学－「出会い」と「かかわり」のワークブック－』ナカニシヤ出版、2008年</p>		
参考書	<p>授業中に適宜紹介する。</p>		
評価方法	<p>出席を重視する。ただし、教室内に座っているだけでは出席とは認めない。毎回の課題への取り組みや授業への積極的な参加がない場合はその回の得点は0点とする。</p> <p>授業外学習 10%・授業への参加度 20%・ミニレポート（振り返り）70%</p>		
既修条件	<p>なし</p>		
実務経験のある教員による授業	<p></p>		